

止まり木

9月20日発行
第18号

大阪市立横堤中学校

生徒10力条 その⑦

時間を守り、遅刻ゼロにする



先週末から台風14号が日本に上陸し、各地で大きな被害が出ました。大阪も心配されましたが、大きな影響もなく、無事今日から学校も通常通りに始めることができました。ただ、身近なところで被害にあわれた方もいるかもしれません。一日も早い復興とお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、今日は**生徒10力条 その⑦、『時間を守り、遅刻ゼロにする』**についてお話しします。校長先生が横堤中学校に来てまず最初にうれしかったのが、みんながよく挨拶をしてくれ、きれいな言葉使いをしているということでした。それでもう一つが遅刻者が少ないとということでした。8時25分にはほぼ全員が登校している、これは本当に素晴らしいことです。みんなが時間を大切にしている証拠だと思います。だから、みんなに与えられている時間は1日24時間、当然公平な時間であることや過ぎ去った時間を取り戻すことはできないことはよくわかっていると思います。「時は金なり」、「Time is money」と言われるように大切な時間だからこそ、時間を守らないといけないので。では、「自分ならどう思うか。どうするか。そんなことを考えながら以下の話を聞いてください。

ある日曜日、友達と13時に横堤駅で待ち合わせをしました。13時になっても13時10分になっても友達はやってきません。13時30分にようやく友達は慌ててやってきて笑いながら「ごめん。ごめん。」と言ってきました。翌週、同じ友達と同じく横堤駅で13時に待ち合わせをしました。また、13時になっても友達はやってきません。13時10分になってやってきました。その次の週も同じく13時に待ち合わせをしましたが、やはり時間通りにはやってきませんでした。さあ、みんなはどう思いますか？次の待ち合わせの時には、どうせ友達も遅れてくるだろうから自分も遅れないこう。とか、もう2度とその友達とは約束しない。と思いませんか？腹が立つと同時に友達のことを信用できなくなりませんか？そうです。時間を守らないということはこうして人としての信用・信頼をなくすことになるのです。友達が約束の時間に遅れてくると、楽しく過ごす時間が減ってしまいさみしく思います。でも、きちんと守ってくれると、一緒に過ごす時間や自分のことを大切にしてくれているのだなと思えるでしょう。時間を守るというのは、人を大切にする、人を信用することにもつながってくるのだと校長先生は思います。遅刻は、一度やってしまうと、何度もしてしまう、常習性の高いものです。一度遅刻を経験してしまうと、次に遅刻するのもわくなくなるのです。そのため、遅刻の常習犯になってしまいがちなのです。

先ほども言いましたが、みんなに与えられている時間は1日24時間。それ以上もそれ以下も絶対にありません。その時間の中でやらない理由やできない理由をさがすのがうまくなっていますとみんなの成長は止まってしまいます。そういう意味でも時間を大切にしてほしいと思います。また**時間は、前にしか進まない一方通行です。後戻りはできません。**過去を振り返り、自分を見つめることは大切ですが、後悔に時間を使うのは意味がありません。一方通行は、前に進むのがマナーのように時間の流れに沿って、**顔も意識も、未来に向けましょう。これからのために、時間を使うことです。**よりよき未来を作るために時間を費やすことが、最も有益な時間の使い方です。そんな時間の使い方をしてください。